

「アンガーマネジメント怒りへのコントロール」

アンガーは angry, マネジメントは配分すること。

アンガーマネジメントは『怒りの感情を配分すること』です。

あの時、怒らなければよかった・・・と後悔。

あの時、我慢せずに怒るとよかった・・・と後悔。

私たちは日々この繰り返しで、ストレスを溜めています。

アンガーマネジメントは怒らなくなることではありません。

怒ることと、怒らなくともいいことを区別すること。

その方法をお伝えします。

たったそれだけのことで、どの位変わるのか、その後の変化を楽しんでください。

『就職活動におけるマナーや心構え』

仕事ができ感じが良い。そんな人材が求められています。

仕事ができることはもちろん重要ですが、それだけでは通用しないのも現実です。

第一印象は数秒で決まると言われています。

就職活動中での面接シーンも同様で、面接官との最初の数秒がその面接の行方を大きく左右するかもしれません。

面接では話の内容と同じくらいマナーが見られています。

仕事を行ううえでのマナーが身についているかを企業は見たいのです。

基本のマナー、つまり当たり前のことがきちんとできているかどうかで、印象はまったく違ってきます。

印象度アップにつながる訪問、面接での基本マナーや信頼を届ける姿勢、視線の置き方、話の聞き方を確認します。

また、企業が学生を採用するにあたっての最重視点はコミュニケーション能力です。コミュニケーションの入り口をワークで体感していただきます。

企業が求める『人財』を目指します

「歯科技工士のコンプライアンスとスキルアップ」

抄録

2016年度（平成28年度）歯科診療報酬改定が行なわれ、平成28年4月1日より実施することとしているところであるが、今般、その取扱いに係る疑解釈について厚生労働省から関連資料の「疑義解釈資料 歯科診療報酬（その2）」（訂正文を含む）が案内された。今回は平成28年度の改訂部分を整理し、歯科診療報酬のしくみや、特に「製作技術点数」への理解を深めて頂けるように、説明したいと思います。

また、若年層、学生を対象に歯科技工士法を解説し、法令遵守が周知されよう説明を加えたい。

昨今「SNS等のメディアの影響力をかりて歯科技工士の環境問題を表面化してはどうか」などの声も聞かれる中ではあるが、その前にまず歯科技工士自信が自己研鑽を重ね、歯科技工士自身の力で環境整備や社会的地位の向上を目指す意識を持つべきだと考えます。歯科技工士会の活動を通して、日技の活動と成果を解説し、その組織活動の必要性を理解して頂きたいと思います。